



Fast DOCTOR

ファストドクター
代表医師

菊池 亮（きくち・りょう）

1986年3月生まれ

2010年帝京大学医学部卒業。
帝京大学医学部附属病院、関連病院にて整形外科に従事後、
2016年にファストドクターを創業し代表に就任。
帝京大学医学部救急医学講座を兼務。日本整形外科学会専門医、日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医、一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会認定指導医、一般社団法人日本在宅救急医学会評議員。

現在の活動：

- ファストドクター代表医師
- 一般社団法人日本在宅ケアアライアンス 災害対策委員会・新型コロナウイルス感染症対策班 プロトコール作成ワーキンググループメンバー
- 帝京大学医学部附属病院総合診療ERセンター医師

ファストドクターの特徴：

- 医師1020名が所属、1日70名以上の医師が勤務する国内最大の往診体制
- 東京都、大阪府、神奈川県、埼玉県など多数の自治体と公式に連携（緊急往診支援事業者として国内唯一）

コロナ禍での活動：

- 2020年3月 コロナ自宅療養者への健康観察チームを発足
- 2020年4月 テレビ電話によるオンライン診療開始 最短1時間で処方薬の宅配も
- 2020年8月 全国初、自宅でのPCR検査（公費適用）を開始
- 2020年12月 年末年始で医療機関が閉まる中、かかりつけ医から発熱患者の診療を受託
- 2021年4月 東京都板橋区・荒川区・世田谷区から自宅療養者の支援を受託
- 2021年4月 東京都「地域における自宅療養者等に対する医療支援強化事業」を受託
- 2021年4月 大阪府から「自宅療養者緊急相談センター」事業を受託
- 2021年6月 企業向けワクチン接種支援を開始。休日・夜間に特化して社員家族・取引先も対象に
- 2021年6月 新型コロナワクチン接種者向け専用窓口を開設。相談受付から医療支援まで
- 2021年7月 東京都より受託を受け、自宅療養者に対して酸素濃縮装置（150台）運用